令和８年度　つかわき便り

令和８年４月３日発行

ゆうらくせん 遊楽船４月号

施設長　福永政和

鶯の美しいさえずり、澄み切った青空に映える満開の桜、春爛漫のここつかわきです。皆様もこの季節を、美しい風景を楽しまれていらっしゃるのではないでしょうか。

さて、この桜の満開とともに、毎年迎える開園記念日（４月１日）、今年度は３６周年となります。毎年、この特別な日には、亡き父、そして亡き弟を思い浮かべます。施設の歴史はこの桜の年齢と重なります。幼木のソメイヨシノの植樹、あれから３６年、立派な大木となり、今年も見事な花を咲かせています。家族会の切実な願いを叶えるべく設立したこの学園、多くの利用者の皆さんとの出会いがあり、多くの思い出が脳裏をよぎります。父の後を継いで、現在、理事長として経営にあたっておりますが、利用者の皆様が毎日を穏やかに過ごされている姿をみると安心します。

ところで、隣接する塚脇小学校がこの３月をもって閉校となりました。ここ十数年は他の地域から児童を受け入れる特認校としての学びを保ってはいましたが、過疎化・少子化の波にはかなわず、残念ながら苦渋の決断に至ったようです。閉校記念式典でいただいた記念誌には、これまで巣立った卒業生全員の名前があり、昭和１２年卒に父「福永政次」の名前が刻まれておりました。また、白黒の集合写真まで掲載されており感慨深く見ることでした。昔は周辺に中学校はなく、海岸の福山の学校まで何キロもの坂道を歩いて通った時代を考えると、父の時代の子どもたちのたくましさが想像できます。園芸専門職として高等学校で勤務し、退職後の第２の人生をこのつかわきに捧げた人生、たくましく生きた父、また、支え続けた母の苦労のもとに今の私たち、そして利用者の皆様の幸せがあることに、あらためて感謝です。

今月から新年度がスタートし、また新たな歴史を創造していくことになります。とりわけ昨年度から進めてきました利用者の居室建設につきましては、設計が完了、今月は業者の入札となり、５月には着工を予定しております。施設東側の杉林も伐採、根も重機で掘り起こして整地し、見晴らしも大変よくなりました。完成すると、これまで２人部屋や４人部屋であった居室が、本当に自分だけの部屋、自分のお家として過ごしていただけることになります。運動会や秋祭りで活用してきたグラウンドがなくなることは少々寂しいですが、樹木を伐採してできた新しい広い敷地が、利用者の皆様の憩いの場所になるよう並行してデザインしているところです。私にとっても長年思い描いてきた夢、願いがいよいよ実現する年度になりそうです。初代理事長であった父、共にこのつかわきで働いた弟の伸二も、楽しみに見守ってくれていると思います。

どうぞ、令和８年度も引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年もひな人形を飾りました

３月３日はひな祭り、昼のお弁当は、この日にちなんだちらし寿司でした。

毎年、利用者の方々に飾り付けをお願いしています。今年は１０日前に、こすもす班の東 治久さんと桑木野京子さんが飾ってくれました。玄関口で迎えてくれる人形に優雅な気持ちになります。また、なでしこ班では、それぞれ折り紙でひな人形を作りました。利用者の皆さんが、健康でありますように。

プロ野球キャンプを見学

２月 20 日（金）、大園 誠さんと岩水和男さんのお二人を連れて、宮崎市でキャンプインしているプロ野球、西部ライオンズを見に行きました。キャンプと言っても、入場料もなく、誰でも見学できるシステムで、プロの練習風景を身近に見学できました。特に、大園さんは根っからの西武ファン、以前から一度は行ってみたいとの願いが叶い大興奮、至福の時間を過ごしました。

塚脇小学区が閉校

３ 月１５日（日）、塚脇小学校の閉校式があり、123 年の歴史に幕を下ろしました。塚脇小学校は、当施設を開園した初代理事長の母校でもあります。私たちの学園とも長年の交流があり、地域の拠点としての役割も果たしておりましたので、閉校は残念であり寂しくもあります。流された映像の中にも、利用者さんたちの参加する地域の運動会やグラウンドゴルフなどが紹介されました。

陶芸班外出

３月１８日（水）陶芸班の４名の利用者さんは霧島方面へ外出し、温泉や食事、買い物を楽しんできました。

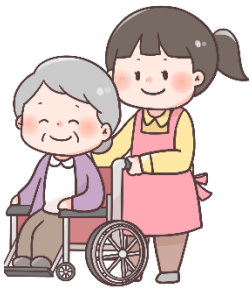
４人の一番の楽しみは久しぶりの温泉、霧島町の神の湯温泉は外出の度に利用しています。この日ものんびり温泉を楽しみ、外食と買い物までして満足気でした。

第一幼短の学生３名が実習

２月２４日（火）から３月６日（金）、今年度も第一幼児教育短期大学３名の学生の施設実習を受け入れました。私たちにとっては、少しでも多くの方々が障害者福祉への理解を深めてくれる良き機会でもあり、こうした受け入れは社会への貢献にも繋がります。このような趣旨から毎年受け入れており、利用者の皆さんも楽しみにもされております。

一緒に活動しながら、お互い有意義な２週間を過ごすことができました。写真は実習生の考えたレクレーションを楽しむ様子です。

お別れ会では利用者の松山さんから手書きの似顔絵のプレゼントがあり、３人ともびっくりしていました。また、実習生からも心を込めた寄せ書きのプレゼントをいただきました。



花見へ出かけました

３月３０日（月）利用者の皆さん全員で花見へ出かけました。この日は天気が下り坂、午後からは雨予報とあって、午前中のうちに霧島のみやまコンセールなど近場の公園へ行き、満開の桜の下で記念撮影しました。そこから都城の道の駅で昼食、観音池公園の桜はバスから楽しみ、都城イオンでおやつや買い物を楽しんできました。見事な桜の花に心が癒されます。学園の桜も満開を過ぎてはいますが、しばらくは楽しめそうです。

抜根作業が終了　明るくなりました

学園本棟の東側にあった杉林を伐採、重機で根まで掘り起こして整地しました。職員の一人、農業専門の堀切さんですが、こうした重機作業もこなせるとあって貴重な存在です。ここひと月間は抜根と整地に専念してもらい、見事に広大な敷地へと変貌させてくれました。

芝生を張ったり桜やアジサイなどを植えたり、ベンチなどおくと、利用者の皆さんの憩いの場所となるのではないかと思うと、また、楽しみが増します。

Happy Birthday

３月生まれの利用者さんの誕生会を３月２２日（日）に開催しました。

３月生まれは、東 博行さん、秋葉孝子さんのお二人です。プレゼントを手に二人とも笑顔でとても嬉しそうにされていました。益々お元気で。

自治会主催の誕生会